

## (単元) 情報社会と著作権

## (本時のねらい)

世の中には様々な著作物があふれている。これらを活用することで私たちの生活は豊かなものになるが、著作物や著作者の権利を知り尊重することで、文化の発展に寄与できることを気づかせる。近年インターネットの普及によって、だれもがコンテンツの発信者になり利用者にもなることを気づかせ、両者の立場を理解できるようにする。

## (ICT活用方法)

ワークシートにまとめられた著作権の種類を説明する際に、電子黒板を使用してプリントと同じものを提示することで、時間短縮と理解度の向上を図る。また、ある芸人が公開していた動画と、著作権侵害を指摘されて改訂した動画を見比べて、著作権に配慮した点を見つけられるよう工夫した。

## (本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	著作権について復習する。	ワークシートで前時の振り返りを行う。	ワークシートを電子黒板に提示し名称等を確認する。	
展開 40分	著作権の具体的内容について知る。  動画を見て著作権上の問題点を探す。  グループで意見を出し合いまとめる。	人格権と財産権に分類されることを知らせる。 言葉の意味を理解させる。 童謡替え歌のCD販売差し止め訴訟の概要を聞き、訴訟前に出た動画の問題点を各人で考えさせる。 それぞれの意見感想をグループ内を出し合い、様々な視点や考え方を	ワークシートを電子黒板に提示する。  ある芸人の動画を表示して、動画内の問題点を見つけさせる。  グループでまとめた内容をタブレットを通じて電子黒板に投影し情報を共有する。	グループ学習

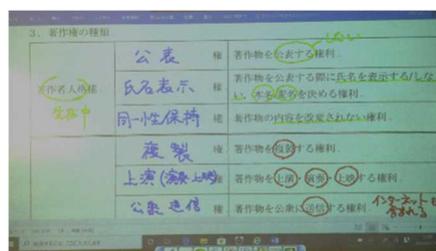
	改訂後の動画を見て、改善された点を確認する。  様々な著作物の使用条件を知る。	知る。 生徒から指摘された項目を確認する。それ以外の点についても提示する。 一定の条件の下で著作物の使用が認められていることを知る。	改訂後の動画を表示する。適宜一時停止して改善点を確認する。  フリー素材等のホームページで、著作物の使用条件を確認する。	
まとめ 5分	著作権の概要を振り返り、次回の予告を聞く。	産業財産権も著作権同様の権利であることを知らせる。	著作権のまとめのスライドを表示する。 産業財産権の導入スライドを表示する。	

(使用動画：翻訳者と和解したため、修正前と修正後の両方が動画サイトで公開中のもの)

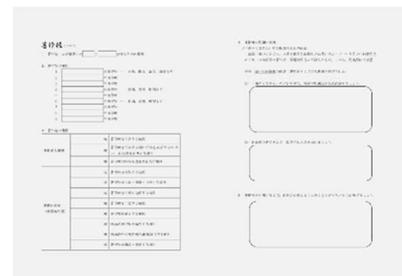
(授業の様子)



ワークシートや動画を  
を表示させる



ワークシートと同じものに  
電子ペンで書き込む



個別にまとめておいて  
グループ学習にも使用

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

動画を見て直ちに気づく点と、解説後に気づく点があり、個人差もあることから、まずは一斉授業で個人の意見をまとめさせた。その後でグループで話し合わせると、多様な考え方や自分の考えに対する評価を知ることができた。今後も身近でタイムリーな話題を選んで、生徒が興味を持って考えられる題材を取り上げられるよう努力したい。